

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年3月31日
2次評価日（課長等）	26年3月31日

# 事務事業評価表（公共施設）

1 事業名	内山霊園管理事業			コード	82102	
2 担当部課	部等	市民環境部	課等	市民生活課	作成者	吉沢 透
3 事業概要	目的体系	基本目標	自然環境と暮らしが調和した、安全・安心なまち			
		政策	循環型社会の構築	施策	環境衛生対策の推進	
		予算科目	施設管理費、予備費	業務委託	一部委託	
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市霊園条例			

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
施設の概要（簡潔に）	総区画（聖地）数 2, 8 1 2 区画		
目的	対象者	岡谷市に本籍又は住所を有する者	
	意図	聖地使用関係者及び一般来園者のため、安全で美観に配慮した維持管理を行う。	

5 施設の管理運営状況				
指定管理者			25年度指定管理料	円
施設における通常業務	園内施設等の維持管理業務			
事業の実施内容	<p>(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>園内管理業務、植栽整備、草刈業務等（シルバー人材センターへ委託）</li> <li>園内給水管切替え工事</li> <li>使用料、管理料の徴収等</li> <li>聖地使用者新規募集 1 4 区画</li> </ul>			
前年度の課題への対応	工事を実施し、改善が図られた。			

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	359	359	359	359
1日の開設時間（時間）	8	8	8	8
年間利用可能時間（時間）	2,872	2,872	2,872	2,872
年間利用実績（時間）	2,872	2,872	2,872	
② 年間利用者数（人）	2,572	2,568	2,575	2,286
有料利用者数	2,572	2,568	2,575	2,286
無料利用者数	0	0	0	0
減免措置者数	0	0	0	0
③ 年間利用件数（件）	0	0	0	0
有料利用件数				
無料利用件数				
減免措置件数				
④ 1日あたり利用者数、件数	7.2	7.2	7.2	6.4
⑤ 施設利用状況の説明				

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	8,615,022	10,997,904	14,479,668	14,700,000
経常経費	8,615,022	10,997,904	14,479,668	14,700,000
臨時的経費	0	0	0	0
* 臨時的経費の説明				
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	4,640,000	4,640,000	4,640,000	4,640,000
正規職員の人数(人)	0.58	0.58	0.58	0.58
③ 合計コスト(①+②)	13,255,022	15,637,904	19,119,668	19,340,000
前年度比		118.0%	122.3%	101.2%
財源	859,132	3,594,240	5,506,729	5,209,000
内訳				
一般財源	859,132	3,594,240	5,506,729	5,209,000
特定財源	12,395,890	12,043,664	13,612,939	14,131,000
* 特定財源の説明	事業収入、諸収入			
④ 施設使用料年間収入額	12,369,400	12,016,900	13,555,200	14,095,000
⑤ 年間減免措置額	0	0	0	0
⑥ 受益者負担割合	143.6%	109.3%	93.6%	95.9%
⑦ 活動一単位あたりコスト	5,154	6,090	7,425	
前年度比		118.2%	121.9%	
⑧ コストに関する補足説明				

## ●事業の評価(CHECK)

### 8 妥当性評価

\* 妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、NPO、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、NPO、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

### 9 有効性評価

\* 有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。	1	
1日あたり利用者数、件数	前年度比 100.3%	
⑤ 施設使用料収入が増加した。	1	
施設使用料年間収入額	前年度比 112.8%	

## ●改善の内容(ACTION)

### 10 具体的な課題と改善

課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) 多様化する墓地ニーズへの対応。
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 使用者へのアンケート調査の実施。
改善開始時期	平成26年4月

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
予定事業費	円	予定時期	
内容			